

にしだ昭二 県政通信



2013
初秋号



安倍自民党総裁が参議院選挙で来県の際に司会を務める西田昭二県議（香林坊にて）
衆議院議員小泉進次郎青年局長と街頭遊説のときの西田昭二県議（能登島通町三ヶ浦漁港にて）

皆さん、こんにちは県議会議員の西田昭二です。
昨年暮れの衆議院解散総選挙に続き、今年の7月の参議院議員選挙に於いても自・公の圧勝で終わった選挙でありました。経済安定や外交問題、TPP、憲法改正など多くの難題が山積し、政治のねじれの解消を訴えた戦いでありました。国民は今一度、自民党にチャンスを与えていただいた訳であります。今後は先の轍は踏まず、国民目線で将来を見据えた政治の舵取りを期待するところであります。

しかしながら今年1月、私の政治の師でありました瓦力先生が天国に旅立たれた訳であります。瓦先生は能登をこよなく愛し、郷土の振興と発展に尽力され多くの方々に親しまれていました。今後は天国から能登の行く末を見守っていただきたいと思います。

現在、私は、県議会において商工労働公安委員会の委員長を拝命し忙しい日々を送らせていただいております。今後とも与えられた職責を全うし、七尾市、石川県の振興と発展に全力で取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様方のご支援ご協力をお願いをさせていただきご挨拶と致します。

石川県議会議員 西田昭二（2期 44歳）

県議会での主な略歴 ◎：委員長 ○：副委員長

H19年	県議会	厚生環境常任委員会	・	県議会	交通・交流・世界遺産特別委員会
H20年	〇	土木企業常任委員会	・	〇	地域防災・活性化特別委員会
H21年	〇	総務企画常任委員会	・	〇	循環型社会形成特別委員会
H22年	〇	文教公安常任委員会	・	〇	地域経済・雇用対策特別委員会
H23年	◎	厚生文教常任委員会	・	〇	新幹線対策特別委員会
H24年	◎	環境農林建設常任委員会			
	〇	決算審査特別委員会			
H25年	◎	商工労働公安委員会			
	〇	防災対策特別委員会			

～にしだ昭二事務所～

〒926-0173 七尾市石崎町ソ部5

TEL & FAX 0767-62-2525

MAIL nanaopolicy@yahoo.co.jp

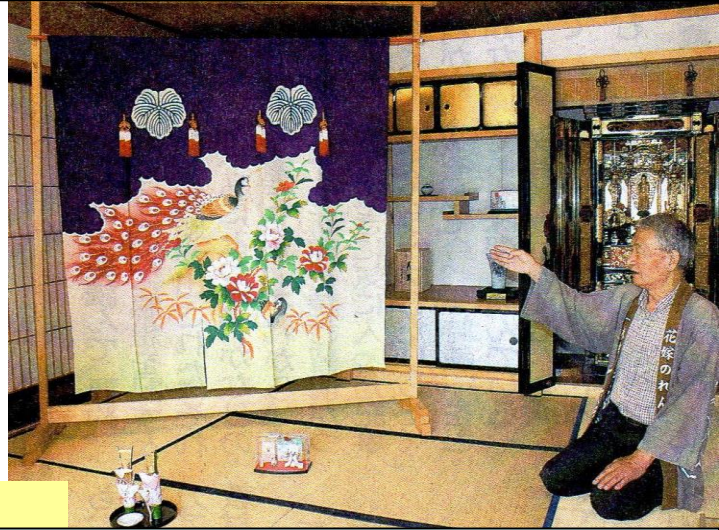
初心を忘れることなく！ 2月議会予算委員会質問・6月一般質問

県議会初当選から6月議会で25回の県議会定例会が行われ、これまで初回からずっと一般質問や委員会での質問を続けています。細かな質問もありましたが『地元七尾を大切に』との思いであり県議会議員として県との『つなぎ役』に徹する思いは今も変わりません。以下は、2月議会予算委員会質問及び6月議会一般質問での私の質問と執行部の答弁の趣旨です。

能登の観光振興について 【平成25年2月議会にて】

《質問趣旨》七尾市一本杉町会が開催する「花嫁のれん展」等の取り組みが、先般JTBの交流文化最優秀賞を受賞し、今後の誘客が期待される中、県も誘客活動でこの一本杉通りをアピールしてほしいがどうか。

《知事答弁》住民と観光客が触れ合えるまちづくりを地域一体となって進めてきた活動が、全国57の応募から選ばれて最優秀賞を受賞したものと伺っている。県ではこれまでも様々な機会を通じて発信してきたと同時に能登ふるさと博にも 一本杉通りめぐりをメニューに加えたりしてきたこともあり、今回の受賞は我がことのように喜ばしい。今後ともこうした地域の地道な活動を支援することで地域の活性化につなげていきたい。



25.7.25 北國新聞

世界農業遺産「能登の里山里海」について 【平成25年2月議会にて】

《質問要旨》 今回の農業遺産国際会議を、本県の豊かな里山里海の幸を国内外に発信する機会として欲しいが、考えを聞く。

《知事答弁》 今回の国際会議には、FAO最高責任者のシルバ事務局長をはじめFAOや各国の政府関係者研究者など国内外から多くの参加者が見込まれる。能登の里山里海で育まれた農林水産物の魅力を発信する絶好の機会だと考えている。能登には「能登棚田米」「能登大納言」「中島菜」「能登牛」「のとてまり」等の農産物、「ナマコ」「加能ガニ」「寒ブリ」「トリガイ」等の新鮮な魚介類、自然に恵まれた山菜、海藻など品質や特色に優れた食材も多く、加えて「天然塩」「いしる」、地酒などの食を支える伝統的な調味料や発酵食品も豊富で国際会議に併せ能登の里山里海の魅力や恵を知り体験していただく場を持ち、能登の気候風土と人々の営みにあわせ旬の食材を工夫を凝らしたものにし、積極的にその魅力を発信していきたい。



石川県七尾市和倉町で（平野皓士朗撮影）

25.5.31/25.6.1
北國新聞

その他、以下の質問をいたしております。
【平成25年2月議会予算委員会質問にて】
◎能登空港について
◎原子力防災対策について
◎七尾港の利用促進について

その他、以下の質問をいたしております。
【平成25年6月議会一般質問にて】
◎世界農業遺産国際会議について
◎のと里山海道について
◎障害者の雇用について

避難路整備について【平成 25年2月議会にて】

《質問要旨》 志賀原発の有事の際に、避難路と想定される県道福浦港中島線の七尾市側と国道249号の七尾市中島町外・田岸地内間は、幅員が狭いなど整備が必要だと思われる。また、七尾市豊川地区における「のと里山海道」からの新たなインターチェンジ建設についての所見を聞く。

《知事答弁》 これまでも重点的に耐震補強・落石対策等に取り組んできた。県道福浦港中島線の中島町土川地内では1.5車線の道路整備により緊急性の高い箇所から安全性の確保を図ってきたが、避難路利用も想定し、みちづくり協議会や地元の意見を伺い検討していく。中島町地内の整備は現在外地内の落石対策を進めている。国の大型補正予算も活用しH25年度内の完成を目指す。双方の地区の整備に着手できるよう検討する。

《鈴木土木部長答弁》 設置を希望する市町で設置の必要性や利用交通量の調査、検討、整備を行ってきた。豊川地区でインターチェンジを設置する場合のコストや技術面の課題も考えられる。県としては、七尾市から具体的な相談があれば適切に指導助言をしていきたい。



県地域防災計画の修正案を了承した震災対策部会＝県庁

25.5.15 / 25.4.1 北國新聞



能登半島沖のエネルギー問題について【平成 25年6月議会にて】

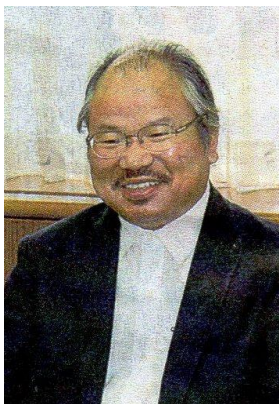
《質問要旨》 国に対しメタンハイドレートの開発促進を積極的に働きかけてはどうか。

《黒野企画振興部長答弁》 メタンハイドレートの商業化に向けた開発は息の長い取り組みが必要。昨年9月には、本県を含む日本海沿岸十府県が連携し、海洋エネルギー資源開発促進日本海連合を立ち上げ日本海沖における調査費の拡充等を要望。今後とも この活動を通じ、能登半島沖など日本海側でのメタンハイドレートの開発促進を国に働きかけてまいりたい。

観光振興について【平成 25年6月議会にて】

《質問要旨》 安部龍太郎氏の直木賞受賞を機に地元で等伯のドラマ誘致の機運が高まっているが、短編ドラマとして誘致してはどうか。

《蟹由観光交流局長答弁》 「等伯」のテレビドラマ化については何より地元の皆様の意向や取り組みが大切。地元ではドラマ化の実現に向け誘致活動に取り組むみたいとの声があるように聞いておりますが、県としても石川を舞台とした魅力的なドラマが制作されることは本県のPRや誘客につながるから 今後地元の思いを生かした協力のあり方など必要に応じて検討してまいりたい。



25.7.19 / 25.7.9
北國新聞



防原子
災力

県議会予算委



西田昭二氏

具体化しつつある中、一三年度も引き続き住民参加型の実動訓練を強化するため県は三十
各市町の防災体制を
中学校や高校・公民館
幼稚園、保育所など七

能登の味
国内外に紹介

農業遺産会議でブース

25.3.15 北國新聞

七尾港の振興策を問う

西田昭二氏

〔七尾港〕振興策を
ねる。
谷本知事 ロシアの



製材品について広域的な試験輸送を実施する。今年行った北米産原木の取り扱い

知事 露の製材品を試験輸送

は支障がなかった。

て検討する。七尾市中

〔県道福津港中島線〕島の国道249号は新
災害時の避難路となり、整備促進が必要だ
谷本知事 地域防災C構想は、市から相談
計画との整合性を考えがあれば助言したい。

障害者雇用を推進せよ

西田昭二氏

00回、LANは4万1千件となっている。

〈障害者雇用〉県内

樂內

「能登スマート・ド」企業への昨年度の就職
ライブ・プロジェクト件数は。

の170件と、着実にめ

急進展している。

衆無線LANの利用は162件増の973件で、3年連続で過去最

宮本商工労働部長 高を更新した。今年度
5月末までで充電17 は4月末時点で64件増

商工労働部
部長

3年連続で過去最高に



させるため、インターチェンジ付近に観光案内標識を設置せよ。

混雑時に堅

車道の通行に支障が

いよう消防に随時、
雑情報を提供する。

で過去最高に

25.6.19北國新聞

新聞記事あれこれ

里山海道に観光標識

来年度にかけ整備

25.6.19 北國新聞

無料化に伴い里山海道の混雑が目立つが、緊急車両の通行に支障を来さないかと西田氏が指摘したのに対し、県側は今後、新たに混雑情報も消防本部に随時提供していくとした。

質問も「やさしや」

○…西田氏は3年ぶりにトツプバッターとして登壇。緊張しているが、初心に返ったつもりで質問に入りたいと切り出した。能登の話題を質問した。厳しい追及はなく、県側から踏み込んだ答弁もなかったが、「能登は配慮してもらっている。せいたくは言えない」と穏やかな表情。「ゆつくり地域のことを聞くことができた」と満足げで、質問も「能登はやさしや」を地でいった？ (吉)